

# 令和7年度秋のまちづくり懇談会内容

日 時： 令和7年12月18日(木)18:30～

場 所： 南部公民館

出席者： 17人

## 1 開 会

## 2 町長挨拶

## 3 懇 談

(1) 栗山町第7次総合計画～後期実施計画策定に向けて～資料①

(2) 主要施策の取組状況について 資料②

(3) 事前質問に対する回答

(4) 自由懇談

## 4 その他 別添資料

- ・くりやま暮らし応援電子商品券のご案内等・・・商工観光課より
- ・緊急告知 FM ラジオの企業・事業所配付について・・・総務課長より
- ・町営バス時刻表（説明なし）

## 5 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

<b>■小児科について</b>	
町 民	町内の小児科の先生はとても良い先生だが、年齢的にもいつまでやれるのかわからない。小児科が無くなると町外まで行かなくてはいけなくなるので、早めに今後の小児科の診療について検討してもらいたい。
町 長	小児科の院長先生には、地域医療協議会の会長さんも務めていただいている。先生が診療を続けられる間はお願ひし、同時にその後のことも検討していきたい。現在、栗山赤十字病院とは、小児科開設についても将来的にはという話をしている。外来の診察室も新しい科を新設するための予備があるので、先を見据えてしっかり準備していきたい。
<b>■町内会の運営経費について</b>	
町 民	継立で昔からの行事をしているがお金がかかる。町内会費も上げられないが、年々維持費が上がっている。しかし、継立出張所長と、建設課の連携により町有地の草刈り事業で町から委託費をいただいて連合会に寄付できた。このようにお金を生み出せる仕組みを町で教えてもらってありがたかった。今後も町職員を教育して、地域のためになることを教えてもらいたい。
町 長	町内会の維持に関しては、全町的な課題となっている。町職員含め連携させていただきたい。継立は企業も含め一致団結している。栗山市街地では、町内会の人数減少の他役員のなり手不足問題など抱えている。現在34の単位町内会があるが、5つ6つ集まってまちづくり協議会を作っている、将来的には今の単位町内会では維持できなくなる時が来る。継立をモデルにして行きたい。まちづくりの原動力となる。
<b>■町営バスについて</b>	

町 民	<p>① 栗山赤十字病院の仮玄関が、バス停から遠い。仮玄関前までバスはいけないのか。調剤薬局も遠い。帰りのバス時間は 12:30 か 14:00.14:30. FAX で処方箋を送って薬を栗山赤十字病院に届けてもらえるとありがたい。</p> <p>② 恵庭市に行きたいときに、北広島市までのデマンドバスと使うとかなり時間もかかる。継立は由仁町を通ると近い。由仁町のバスが便利なので由仁町に問い合わせると、町民以外は乗れないと言われた。乗れるようにならないのか。</p>
町 長	<p>① 町営バスが、栗山赤十字病院玄関前に入れるかどうかは、確認させてほしい。薬局に関しては帰りがバラバラになると思うので難しいと思う。</p> <p>② 由仁町も栗山町と同じデマンドバスなので、乗車人数が限られており、由仁町民しか乗れない。夕張市のバスもあって継立を通る。ただ、由仁町と夕張市と栗山町の広域で何か仕組みができないか協議をしている。良い方法を見出していきたい。</p>
建設課長	栗山赤十字病院は今後外構工事も始める。町営バスは今後なるべく利用しやすいように考えていきたい。
<b>■南部地域の医療について（お礼）</b>	
町 民	南部地区医療環境の在り方検討委員会には自分も参加しており、第 1 回 2 回目は、継立クリニックの再建は無理だと言われていたが、3 回目の時に巡回診療の話がでて、南部公民館で受診できると聞いて本当に感謝している。通院の待ち時間も苦痛なので、南部公民館の受診をみんなにも勧めて数も増えるようになるとよい。
町 長	公共サービスの公平性を意識している。南部の方が通院で 1 日がかかりとなってしまような状況は避けたい。巡回診療を活用してほしい。